



## 「生きる力」を育むフリースクールの様子

設立されたのは、平下神谷字赤沼の非常利型一般社団法人「TERAKOYA GAMPA(てらこや・がんぱ)」(新妻唯昭理事長)。不登校かどうかを問わず、「生きる力を育むサポー卜」を目標に掲げている。

三十万人を超える中、若者の「居場所づくり」や「生きづらさの解消」は社会課題。そうした中、いわき市内では先ごろ、農業活動を中心としたフリースクールが立ち上がった。

A traditional Japanese garden scene. In the center-left, a wooden pavilion with a blue-tiled roof is nestled among green trees. In the foreground, a large tree with vibrant red autumn leaves stands prominently. To the right, a vertical red sign with white Japanese characters is partially visible. Several people are walking or sitting in the garden, and a stone path leads towards the pavilion.

# 若者らの「駆け込み寺」に 下神谷で農業中心 フリースクールが開所

スで「二刀流」を武器に活躍を続ける大谷翔平選手（三二）。その日々を文字通り支えるマツバレスが先ごろ、いわき市内のバレーボールクラブに届けられた。

大谷選手も愛用の  
マットレスを寄贈  
ヤマキ寝具、バレークに

フレースクールの教育はそれらが併設された「村」が舞台。各種事業のメリットを生かし、外国からの受け入れも含めた「インターナショナルスクール」「農業体験中心の活動」を柱に据える。目指すイメージは、小学生から二十五歳までジは、若者たちの「駆け込み寺」だ。具体的には、非登録制で「来るたい時に来る」方式。新妻理事

の頭文字で、「マイペースで行こう」の意味。新妻理事長が代表を務める「がんぶ村社」の理念で、同社は教育サポート、世界各国から人が集まるゲストハウス、食事処、農園、工務店を展開。



贈呈式でマットレスを受け取った選手ら

七月下旬から活動を始め、夏休み期間中は一日に十人弱が利用。利用時間は主に、午前九時から午後三時まで。当面は月火木曜が定休。

料金は、一日あたり三千五百円（税込み）。夕方から翌朝までの合宿形式だと、一日五千五百円。利用方法など、詳しくは同法人（電話〇五〇一七二二一七二五二五）まで。

オフィス創光が  
11月15日セミナー

同マツトレスは、特殊立体波形の構造で、体圧分散と寝姿勢保持の機能が高いことが特徴。プロジェクトに合わせ、大谷選手は「いっぱい寝て、一緒に大きな夢を見てもらいたい」とメッセージを寄せて いる。

市内で寄贈を受けたのは、女子小中学生のバレーボールクラブ「Sun Shine IV BC」。小名浜三小で贈呈式が開かれ、プロジェクトに協力したヤマキ寝具の八巻諒祐営業戦略室長からマットレス十三本が手渡された。

オフィス創光（岩城光英代表）主催による「親子をとりまく、自転車環境」と題した公開セミナーは十一月十五日午前、平のラトブ六階企画展示室で行われる。

講師は、自転車の安全利用促進委員会メンバーで自転車ジャーナリストの遠藤まさ子さん。講演内容は、いわき市内の自転車の利用状況、自転車で楽しめる道や市の観光への取り組みなどについて語る。

四十分から。希望者は同十日まで FAX (〇二一四六一二七一六六三五) で申し込むこと。